

5 種子島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 河川

本地域の2級河川は、郡川、鹿鳴川、向井川、阿嶽川、湊川等13河川ある。これらの河川はいずれも流路が短く、短時間に多量の雨が降れば急激に増水氾濫し、度々人家・耕地等に大規模な被害をもたらしてきた。このため、緊急性の高い箇所から逐次、河川改修事業を実施し、災害防止に努めている。

郡川は平成7年度、鹿鳴川は平成10年度、川脇川は平成13年度までに改修を完了している。

湊川の中流部、甲女川の下流部については平成13年度までに完了し、湊川上流部は平成13年度から、甲女川の上・中流部は平成14年度から改修事業を実施中である。

市町村が管理する準用河川は焼野川（南種子町）、浜川（中種子町）等があり、焼野川は平成13年度、浜川は平成21年度に改修を完了している。

イ 砂防

種子島の中部から南部にかけては、砂岩、泥岩からなる段丘台地が開けており、この台地から数本の河川が下り、海岸近くにはかなりの平野を造りあげている。これらの地区においては、河川の蛇行が大きく、破壊しやすい土質も加わって、一度に多量の降雨に見舞われると、台地からの土砂流出等による災害が発生しやすく被害も大きい。

このため、災害を未然に防止し、人家耕地等の保全を図るため、平田の小川、安納川第一、大崎の小川、仲之町の小川等で通常砂防事業により堰堤工、溪流保全工等を、また仲之町地区や河内地区においては地すべり対策事業により集水井工やアンカー工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

ウ 治山

本地域は台風の常襲地帯であることや冬季の季節風時の波浪も激しいことから、海岸線における防災林の造成及び山地治山事業等を実施している。

また、西之表市安城地区では、水源地域整備事業を実施し、水資源のかん養を図った。

エ 海岸保全

本地域は、外海に位置し、台風常襲地帯であり、また季節風による波浪も激しいことから、海岸事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿って港湾海岸事業で、牧川港海岸を高潮対策事業により護岸を整備し、平成15年度に事業完了した。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域は、西之表港から中種子町野間を経て南種子町島間港まで種子島を南北に縦断する主要幹線道路の国道58号や、新種子島空港と重要港湾西之表港とをアクセスする主要地方道野間十三番西之表線と島の東岸を走る主要地方道西之表南種子線の2路線と野間島間港線等の一般県道7路線により道路網を形成している。

国道については、これまでの整備の結果、改良率は100.0%となっている。

県道については、これまでの整備の結果、改良率は93.7%となっており県全体の県道の改良率81.3%を上回っているが、野間島間港線や国上安納線は未改良区間が残っており、西之表南種子線については急カーブや幅員狭小箇所等があるため、整備を進めているところである。その他の路線についても、種子島においては幹線となる道路網を形成しているため、計画的な整備を進めていくこととしている。

また、市町道については、主な整備路線として、2級市道十三番鞍勇線、1級市道安城平松線、1級町道横町通り線、1級町道上中西之線、2級町道上中本村線等がある。住民に密接する生活路線として整備を進め、隘路区間の解消を図っている。

道路現況（平成23年度末）

（単位：m，％）

区 分	実延長 A	規格改良 済延長 B	うち 5.5m以上 C	改良率B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長 D	舗装率 D/A
一般国道	48,923	48,923	48,751	100.0	99.6	48,923	100.0
主要地方道	107,837	101,515	93,062	94.1	86.3	107,837	100.0
一般県道	64,412	59,908	53,031	93.0	82.3	64,412	100.0
県道計	172,249	161,423	146,093	93.7	84.8	172,249	100.0
国県道計	221,172	210,346	194,844	95.1	88.1	221,172	100.0
市町村道	821,950	388,474	261,778	47.3	31.8	743,424	90.4
道路計	1,036,943	598,820	456,622	57.7	44.0	964,596	93.0

出典：平成24年度道路現況調査（平成24年4月1日現在）

イ 街路

良好・快適な都市環境を確保するため、都市の骨格をなす基幹施設である街路の整備に努めてきた結果、平成14年度末の整備率81.7%から、平成24年度末では90.1%となっている。

中種子町では、旭町通線と中央通線、南種子町では山崎通線が完成した。

ウ 港湾

本地域の港湾は、重要港湾として西之表港，地方港湾として田之脇港，浜津脇港，島間港の県管理港湾4港のほか，種子島に伊関港，増田港，田尻港等13港，馬毛島に椎ノ木港等3港の市町村管理港湾がある。

種子島の玄関港である西之表港は，昭和28年度に改修事業に着手し，昭和35年7月に重要港湾に指定された。現在は，西之表港港湾計画に基づき，熊毛地域の人流・物流の拠点港として賑わいと潤いのある空間づくりを図るため防波堤改良，岸壁等の整備を進めており，平成20年3月に大型客船の寄港可能な岸壁（-9.0m）を供用開始したところであるが，より安全な接岸を可能とするため，引き続き防波堤改良，岸壁等の整備を進めている。

田之脇港は，種子島の東海岸に位置し，昭和50年度から改修事業を進め，平成10年度までに岸壁，物揚場，船揚場等が完成し，その後，平成12年度までに防砂堤等の外郭施設を整備し終了した。現在は，施設の維持補修等を進めている。

浜津脇港は，種子島のほぼ中央部に位置し，昭和34年度から改修事業を進めており，平成20年度までに防波堤改良等の外郭施設を整備し終了した。

島間港は，種子島南部に位置し，昭和31年度から改修事業を行い，屋久島とを結ぶ定期船の寄港港として，また，建設資材，生活雑貨等の搬出入港として防波堤，岸壁，物揚場，道路，船揚場等の整備を進めてきた。また，種子島宇宙センターのロケット機材搬入港としても重要な役割を果たしているが，港内の静穏が保たれておらず，防波堤の整備を進めている。

市町村管理港湾については，田尻港で改修事業にて防波堤の整備を実施し，平成16年度に終了した。

港湾の整備状況

(単位：m)

港湾名	種別 管理者	平成14年度末						平成24年度末					
		岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び バース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び バース数
		水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
西之表	重要 県	-7.5	130	-4.0	270	3,040	5,000D/W 1B	-9.0	180	-4.0	270	2,914	10,000 G/T
		-5.5	475	-3.0	172		2,000D/W 5B	-7.5	130	-3.0	172		(暫定) 1B
				-2.0	657			-5.5	500	-2.0	395		5,000 D/W 1B 2,000 D/W 5B
田之脇	地方 県	-5.5	90	-2.0	170	573	2,000D/W 1B	-5.5	90	-2.0	170	530	2,000D/W 1B
浜津脇		-5.5	90	-2.0	120	1,130	2,000D/W 1B	-5.5	90	-2.0	120	1,130	2,000D/W 1B
島間		-7.5	220	-4.0	100	892	10,000G/T 1B	-7.5	220	-4.0	100	728	10,000G/T 1B
	-5.5	380	-2.0	130	2,000G/T 2B 2,000D/W 2B		-5.5	380	-2.0	80	2,000G/T 2B 2,000D/W 2B		

エ 空港

種子島空港は、旧空港が昭和37年7月に滑走路1,100mで供用開始し、その後、滑走路の延長やエプロンの拡張等がなされ、1,500mの滑走路を有する空港として利用されてきたが、平成18年3月にジェット機の就航可能な2,000mの滑走路を有する新空港として開港した。

新空港の整備については、平成4年度に空港設置許可を受け、平成6年度から用地買収に着手し、用地取得を終えた区域から順次排水施設や用地造成などの整備を行った。

平成17年度までに土木施設、照明施設、無線施設の整備、ターミナルビル等の建築工事を完了し、平成18年3月に開港した。

現在、種子島～鹿児島に1日4往復、期間限定で種子島～大阪便が運航されるほか、チャーター便によるジェット機の利用がある。

(3) 産業基盤の整備

ア 農業農村整備

本地域は温暖な気候と平坦な畑地に恵まれ、さとうきび、さつまいも等の畑作物、肉用牛生産、酪農等の畜産に加え、早出し産地としてのばれいしょや豆類等の野菜、レザーリーフファンやキク類等の花き、たんかんやマンゴーなどの果樹、米、茶、葉たばこ等の生産振興が図られている。

種子島においては、生産性の向上と農業経営の安定及び近代化を図るため、畑地帯総合整備事業による区画整理等のほか、農免農道整備事業、一般農道整備事業による農道網の整備、農地保全事業による排水路整備を実施した。

また、畑地帯総合整備事業で実施した西京ダムの管理施設の老朽化による機能低下が見受けられるため、平成18年度から、かんがい排水事業により施設の補修・更新作業を実施している。

農業生産基盤の整備状況

(単位：ha, km, %)

区 分	ほ 場 整 備			農 道 整 備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備 面 積	整備済 面 積	整備 率	要整備 延 長	整備済 延 長	整備 率	要整備 面 積	整備済 面 積	整備 率	要整備 面 積	整備済 面 積	整備 率
平成14年度末	7,100	3,703	52.2	1,400	785	56.1	3,800	802	21.1	1,730	672	38.8
平成24年度末	7,100	3,761	53.0	1,400	903	64.5	3,800	888	23.4	1,730	739	42.7

出典：市町村整備水準調査結果（平成25年3月31日現在）

イ 草地開発等

本地域は、肉用牛、乳用牛が盛んな地域であり、草地・飼料畑、牧場等の造成整備、畜産環境整備を行っている。

平成17～21年度にかけて、種子島第1地区において、平成22～26年度にかけて種子島第2地区において、畜産担い手育成総合整備事業（県事業名：畜産基盤再編総合整備事業）を実施し、草地・飼料畑、畜舎等の造成整備を行い自給飼料確保を図っている。また、平成17～21年にかけて熊毛第1地区において畜産環境整備統合補助事業（県事業名：資源リサイクル畜産環境整備事業）を実施し、家畜排せつ物処理施設等の整備を行い、畜産経営に起因する環境汚染の防止と家畜排せつ物等の有効利用を図っている。

ウ 造林

本地域の森林面積は、24,194haで、約9割が民有林、約1割が国有林である。

民有林については、スギ・ヒノキを主体とした人工林が約35%、広葉樹を主体とした天然林が約60%を占める。

これまで造成された人工林については、下刈・除間伐等保育を中心に施業を実施し、また、広葉樹を主体とした天然林については、育成複層林整備（複層林改良等）を実施し、地域内森林の水源かん養、土砂流出防止等の機能の向上が図られた。

エ 漁場

本地域は黒潮の影響とその海底形状から季節的な来遊魚や瀬物類の他、イセエビ等の根付資源等、比較的高級魚を対象とした漁船漁業が古くから営まれている。しかし、近年は来遊する魚類、根付資源等も減少傾向にあり、漁業生産力は著しく低下している。

このため、魚礁漁場を造成し、点在する天然礁に連携を持たせ、これらの相乗効果により、生産性の高い新たな漁場を形成し、もって漁業生産力の増大と漁家経営の安定を図った。

年度	21年度	23年度	24年度	計
事業量 (㎥)	7,497	8,763	7,587	23,847

オ 漁港

種子島周辺海域は、トビウオ、キビナゴ等の好漁場に恵まれており、漁港及び関連施設の整備と相まって、水産業の振興は着実に進展している。

漁港については、漁業の拠点として、また避難港として重要な役割を果たしている住吉漁港（2種）、浦田漁港（4種）、熊野漁港（4種）、庄司浦漁港（2種）の4港の県管理漁港のほか、種子島に13港の市町管理漁港があり、馬毛島に2港の市管理漁港がある。

浦田漁港は、種子島北端の沿岸漁業基地及び避難港として、広域事業により物揚場、防波堤、用地、道

路等の整備を行っており、平成15年度からは静穏な水域を確保するため、防波堤の整備を中心に行い平成23年度に事業が完了した。

このほか、漁村再生事業により、能野漁港の防波堤、物揚場、泊地、道路等の整備を行い、地域水産物事業で湊漁港、浜田漁港の防波堤、物揚場等の整備を行った。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管理者	平成14年度末				平成24年度末			
		けい留施設		泊地	防波堤	けい留施設		泊地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
能野	西之表市	+0.5	83	15,215	557.4	+0.5	83	15,345	583.4
		-1.0	43			-1.0	43		
		-1.5	90			-1.5	90		
		-2.0	100			-2.0	100		
花里崎	西之表市	-1.0	40	2,550	231.5	-1.0	40	2,550	231.5
湊	〃	-2.0	248.4	19,853	676.9	-2.0	248.4	19,853	691.9
沖ヶ浜田	〃	-1.5	18	5,413	251.6	-1.5	18	5,413	251.6
安城	〃	±0.0	35	3,494	148	±0.0	35	3,494	148
		-1.0	50			-1.0	50		
葉山	〃	-1.0	50	3,500	57	-1.0	50	3,500	57
		-1.5	40			-1.5	40		
高坊	〃	±1.3	40	1,958	170.5	+1.3	40	1,958	170.5
住吉	県	-2.0	319	26,773	329.8	-2.0	334	26,773	379.8
庄司浦	〃	-1.0	50	6,581	297.2	-1.0	50	11,834	297.2
		-1.5	75			-1.5	75		
浦田	〃	-2.0	205	24,930	398.7	-2.0	274.3	26,375	433.1
		-3.0	125			-3.0	125		
中山	中種子町	-2.0	30	4,030	253	-2.0	30	4,030	253
梶湯	〃	-1.0	70	3,512	258.6	-1.0	70	2,673	258.6
		-2.0	30			-2.0	30		
熊野	県	-2.0	345	78,403	617.9	-2.0	345	81,603	617.9
		-3.0	180			-3.0	180		
浜田	南種子町	-1.0	130	14,374	196.3	-1.0	130	14,374	237.9
		-2.0	75			-2.0	75		
竹崎	〃	-2.0	167.8	5,752	229.2	-2.0	167.8	5,752	229.2
下西目	〃	-1.0	58	1,529	334.2	-1.0	58	1,529	334.2
砂坂	〃	-2.0	136	8,790	437.6	-2.0	136	8,790	437.6
大川	〃	-2.0	75	8,315	324.2	-2.0	75	8,315	324.2
洲崎	〃	±0.0	17	3,670	226.7	±0.0	17	3,670	226.7
		-1.0	65			-1.0	65		

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域では、未普及地域を解消するため、平成15年度から18年度にかけて、中種子町北部地区、本村西部地区、坂元地区、竹之川地区の水道施設の整備を行った。

西之表市では、平成20年度に下石寺地区、平成23年度からは安納地区の簡易水道事業を西之表市上水道

事業へ統合するため、整備事業を進めてきた。

また、南種子町中央地区及び長谷地区では、使用水量の増加、水源水量の減少による水量不足を解消するため、平成15年度に中央地区として水道施設の統合整備を行い、平成21年度から24年度にかけては、未普及地域を解消するため、南種子中央地区、西部地区の区域拡張事業を順次行った。

イ 廃棄物処理

南種子町が平成21～22年度にリサイクルセンター（処理能力4 t／日）と最終処分場（埋立容量6,100 m³）を、種子島地区広域事務組合（西之表市・中種子町）が平成21～23年度に焼却施設（処理能力22 t／日）やリサイクルセンター（処理能力7 t／日）、最終処分場（24,160 m³）等を整備した。

種子島地域の3市町では合併処理浄化槽の整備促進を図っている。

ウ 公園

総合的な市街地の整備による都市機能の充実の一環として、地域住民のスポーツ、レクリエーションの需要増大化に対処するとともに、憩いの場の提供を図るために、都市公園事業を促進している。

南種子町の南種子健康公園の整備促進に努めてきたところ、平成18年度に完成した。

なお、種子島地域全体の1人当たりの公園面積は、平成14年度末の25.2 m²／人から平成23年度末の30.4 m²／人となっている。

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成15～24年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
河 川	2,612,134	1,176,395	1,209,739	226,000	
砂 防	3,213,628	1,600,533	1,613,094		
治 山	1,885,978	938,590	947,389		
港 湾 海 岸	23,700	7,900	12,640	3,160	
道 路	18,697,473	10,443,721	7,169,788	1,083,964	
街 路	811,040	446,072	271,450	93,518	
港 湾	19,572,207	14,942,527	4,438,984	190,696	
空 港	7,203,067	6,127,297	1,075,770		
水産基盤整備	3,686,040	2,513,169	968,337	204,534	
農業農村整備	14,938,876	8,158,506	5,036,976	1,326,369	417,025
造 林	1,709,820	513,133	250,446	19,188	927,053
公 園	590,300	288,000		302,300	
廃棄物処理	5,754,313	2,036,163	147,917	3,570,233	
簡易水道	1,323,927	661,963		661,964	
合 計	82,022,503	49,853,969	23,142,530	7,681,926	1,344,078

6 屋久島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 河川

屋久島の2級河川は、一湊川、永田川、栗生川、安房川等10河川があるが、そのほとんどの河川が急流を成し、雨量も非常に多く平地で4,000mm、山頂部で10,000mmを超すとされており、洪水の危険も非常に大きい。緊急度の高い箇所から逐次、河川改修事業を実施してきた。

一湊川・栗生川・安房川・志戸子川は平成4年度までに、永田川は平成11年度までに改修を完了している。

市町村が管理する準用河川は、長間川、江之川（上屋久町）等があり、それぞれ平成14年度までに改修を完了している。

イ 砂防

屋久島は、宮之浦岳をはじめとして、急峻な山岳からなり、降雨量も多く、また、河川は短小急流なため土砂流出による災害が発生しやすく、被害も大きい。

このため、上叶川、栗生川等の通常砂防事業により、堰堤工、溪流保全工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

ウ 治山

本地域は、急峻な山岳からなり、降雨量も多いことから、荒廃山地と荒廃危険山地が多く、その整備が特に必要である。

このため、山地治山事業及び保安林整備事業等を実施し、災害の未然防止に努めている。

エ 海岸保全

本地域は、外海に位置し、台風常襲地帯であり、また季節風による波浪も激しく海岸の侵食が著しいことから、海岸事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿って港湾海岸事業で、宮之浦港海岸を高潮対策事業により、護岸及び離岸堤を整備し平成23年度に事業完了した。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域は、海岸沿いに島全体を一周する主要地方道上屋久屋久線と上屋久永田屋久線の2路線、及び屋久島の主要観光地であるヤクスギランドと安房地区を結ぶ一般県道屋久島公園安房線、安房から安房港までを結ぶ一般県道安房港線、白谷雲水峡と宮之浦地区を結ぶ一般県道白谷雲水峡宮之浦線の3路線により道路網を形成している。

県道については、これまでの整備の結果、改良率は86.4%となっており県全体の県道の改良率81.3%を上回っているが、屋久島の主要観光地であるヤクスギランドへ通じる屋久島公園安房線や白谷雲水峡へ通じる白谷雲水峡宮之浦線は、観光客の増加に伴う大型バスなどの交通量の増加に加え、急カーブや幅員狭小区間が多いため整備を進めているところである。

また、主要地方道上屋久永田屋久線は島内西部の永田～瀬切間（9.5km、旧西部林道）が未改良として残っているが、当区間は平成5年に世界自然遺産に登録された地域であり、その整備に当たっては、平成9年度に設置した屋久島一周道路整備検討委員会から提言をいただいた。検討委員会の提言を踏まえ、今後は維持管理を基本とし、必要最小限の範囲での防災対策を図ることとしており、世界自然遺産登録地にふさわしい道路整備に努めることとしている。

町道については、主な整備路線として、その他町道宮之浦循環線、その他町道鳥川中野線、1級町道安房主要幹線等がある。集落間や県道への連絡等生活に密接した道路としての整備を進め、隘路区間の解消を図っている。

道路現況（平成23年度末）

（単位：m，％）

区 分	実延長A	規格改良 済延長B	うち 5.5m以上C	改良率B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長D	舗装率 D/A
主要地方道	95,730	86,320	81,149	90.2	84.8	95,730	100.0
一般県道	26,154	19,021	15,503	72.7	59.3	26,154	100.0
県道計	121,884	105,341	96,652	86.4	79.3	121,884	100.0
市町村道	249,698	206,882	17,234	82.9	6.9	216,493	86.7
道路計	371,582	312,223	113,886	84.0	30.6	338,377	91.1

出典：平成24年度道路現況調書（平成24年4月1日現在）

イ 街路

屋久島における中心市街地である安房の良好・快適な都市環境を確保するため、都市の骨格をなす基幹施設である街路の整備に努めてきた結果、本通線が完成した。

平成24年度末で、整備率が98.6%まで伸びた。

ウ 港湾

本地域の港湾は、屋久島に県管理港湾の宮之浦港、安房港、栗生港、上屋久元浦港の4港と、町管理港湾の楠川港、中間港等8港、また、口永良部島に町管理港湾の湯向港と岩屋泊港の2港がある。

宮之浦港は、屋久島の玄関港として昭和32年度から改修事業を実施し、大型化する定期船、貨物船の接岸する岸壁等が完成したが世界自然遺産登録後、特に増加した観光客や取扱貨物量に対処するため、ふ頭用地の拡幅等の整備を進めており、平成18年度に完成、供用を開始している。ただし、港内の静穏が保たれていないため、引き続き防波堤の整備を進めている。

安房港は、古くから屋久島の中心港で昭和28年度から改修事業に着工し、岸壁、浮棧橋、物揚場等が整備されたが、港内の静穏が保たれていないため、引き続き防波堤の整備を進めている。

港湾整備状況（地域別）

（単位：m）

島名	港湾名	種別 管理者	平成14年度末						平成24年度末							
			岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び パース数		岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び パース数	
			水深	延長	水深	延長		水深	延長	水深	延長	水深	延長			
屋久島	宮之浦	地方 県	-7.5	310	-2.5	50		5,000D/W 2B	-7.5	430	-	-		15,000G/T 1B		
			-5.5	260	-2.0	301	1,143	2,000D/W 3B	-5.5	260	-2.5	50	1,284	5,000D/W 1B		
	安房	地方 県	-7.5	181	-4.0	389		5,000D/W 1B	-7.5	181	-4.0	389		5,000D/W 1B		
			-5.5	170	-2.0	327	1,536	2,000D/W 2B	-5.5	170	-2.0	427	1,971	2,000D/W 2B		

（注）物揚場-2.0の数値は、-2.0m以深

エ 空港

屋久島空港は昭和38年7月に滑走路1,100mで供用開始し、その後、滑走路延長整備がなされ、昭和51年12月に現在の滑走路長である1,500mの滑走路を有する空港として供用を開始した。平成13年からはYS11型機の後継機DASH8-400型機対策として、滑走路等の舗装強度を変更し、平成16年5月に供用を開始した。

現在、屋久島～鹿児島に1日6往復、屋久島～大阪に1日1往復、屋久島～福岡に1日1往復が運航されている。

(3) 産業基盤の整備

ア 農業農村整備

本地域は山地が大部分を占めており、耕地が海岸沿いに分散しているが、温暖な気候を生かして、ぼんかん、たんかん等の果樹を中心に、ばれいしょ等の野菜、ドラセナやシンビジウム等の施設花き、茶等の生産振興が図られている。

屋久島においては、畑地帯総合整備事業等により区画整理や畑地かんがい等の整備を行っており、生産性の向上と農業経営の安定を図ることとしている。

また、中山間地域総合整備事業により生産基盤及び環境施設等の総合的な整備を行っているほか、一般農道整備事業により流通体系の合理化を図っている。

農業生産基盤の整備状況

(単位：ha, km, %)

区 分	ほ 場 整 備			農 道 整 備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 延長	整備済 延長	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率
平成14年度末	500	193	38.6	300	240	80.0	800	355	44.4	181	181	100
平成24年度末	500	233	46.5	300	242	80.7	800	505	63.2	180	180	100

出典：市町村整備水準調査結果（平成25年3月31日現在）

イ 草地開発等

本地域は、気候が温暖で牧草の生育に適し、肉用牛生産が定着していることから、平成11～15年度まで屋久町の旭地区において団体営草地開発整備事業を実施し、草地造成、隔障物等を整備し自給飼料基盤確保による肉用牛の振興を図っている。

ウ 造林

本地域の森林面積は48,520haで、約2割が民有林、約8割が国有林である。

民有林については、スギ・ヒノキを主体とした人工林が約30%、広葉樹を主体とした天然林が約58%を占める。

これまで造成された人工林については、下刈・除間伐等保育を中心に施業が実施され、また、広葉樹を主体とした天然林については、育成複層林整備（複層林改良等）を実施し、地域内森林の水源かん養、土砂流出防止等の機能の向上が図られた。

エ 林道

林道は、多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全を図り、生活環境の基盤整備を図るため、林道網の整備を促進した。森林基幹道屋久島南部線及び森林管理道春山線を8,095m開設した。

また、既設林道の機能向上を図るため舗装事業も積極的に実施した。

当地域における林道の整備状況は、平成24年度末で85,366m、林道密度8.1m/haとなった。

オ 漁港

屋久島周辺海域は、トビウオ、サバ、カツオ等の好漁場であり、漁港及び関連施設等との整備と相まって、近年、沖合漁場へ進出する5トン以上の漁船も増加している。

漁港については、4種漁港として一湊漁港及び口永良部漁港があり、このほか栗生漁港等の町管理の1種漁港が6港ある。

口永良部漁港は、屋久島の北西に浮かぶ口永良部島の南部に位置し、沿岸漁業の基地、避難港及び定期船寄港港として、広域漁港事業により防波堤などの整備を行い、港内の静穏度向上を図っている。

志戸子漁港は、沿岸漁業の地元拠点港としての機能を発揮できるよう、地域水産物事業により防波の整

備を行い、港内静穏度の向上を図った。

麦生漁港は、屋久島の南東部に位置し、地元、外来船の準備、休憩の基地として、地域水産物事業により防波堤の改良工事を行った。

栗生漁港は、地域水産物事業により防波堤の改良を行い、資源豊かな南方海域を漁場とした沿岸漁業の拠点港としての機能充実に図ってきた。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管 理	平成 14 年度 末				平成 24 年度 末			
		けい留施設		泊 地	防波堤	けい留施設		泊 地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
志戸子	上屋久町	-1.5	104.5	17,901	366.8	-1.5	104.5	17,901	446.8
		-2.0	50			-2.0	50		
		-2.5	120			-2.5	120		
小瀬田	〃	-1.5	47	2,635	226.1	-1.5	47	2,635	226.1
吉田	〃	-1.5	18	1,977	220.0	-1.5	18	1,977	220.0
口永良部	県	-0.5	48.3	3,001	656.2	-0.5	48.3	5,065	855.9
		-2.0	30			-2.0	150.0		
一 湊	〃	-2.0	505	19,110	455	-2.0	505	19,110	455
		-4.0	90			-4.0	90		
麦 生	屋久町	-2.0	125	8,290	618.6	-2.0	125	8,290	538.6
原	〃	-2.0	115	6,920	512.5	-2.0	115	6,920	512.5
		-3.0	40			-3.0	40		
栗 生	〃	-2.0	475	29,546	570	-2.0	475	37,806	630

カ 漁場

本地域は黒潮の影響とその海底形状から季節的な来遊魚や瀬物類の他、イセエビ等の根付資源等、比較的高級魚を対象とした漁船漁業が古くから営まれている。しかし、近年は来遊する魚類、根付資源等も減少傾向にあり、漁業生産力は著しく低下している。

このため、魚礁漁場を造成し、点在する天然礁に連携を持たせ、これらの相乗効果により、生産性の高い新たな漁場を形成し、もって漁業生産力の増大と漁家経営の安定を図った。

年度	19年度	22年度	計
事業量 (t ³)	10,564	9,638	20,202

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域では、施設の老朽化に伴う漏水等を解消するため、平成17年度から19年度にかけて、宮之浦地区の老朽施設の更新を行った。

また、尾之間地区及び小島地区では、施設の老朽化による漏水の解消に併せて未普及地域を解消するため、平成19年度から21年度にかけて尾之間地区として水道施設の統合整備を行った。

平成22年度からは、各地区の簡易水道施設の統合整備を開始した。これにより、平成28年度までには、口永良部簡易水道を除き、各簡易水道事業を1本化する予定である。

イ 廃棄物処理

ごみ処理施設については、平成15～17年度にごみ処理施設（処理能力14 t／日（平成24年度末現在25.92

t/日) やリサイクルプラザ (処理能力 8 t/日) , 最終処分場 (埋立容量4,800m³) を整備した。

し尿処理については, 合併処理浄化槽の整備促進を図っている。

ウ 公園

これまで, 若宮公園, 安房墓園の整備につとめ, 平成9年度から屋久島町 (旧屋久町) の屋久島町健康の森公園の整備促進に努めてきたところ平成24年度に完成した。

なお, 屋久島地域全体の1人当たりの公園面積は, 平成14年度末の8.7m²/人から平成23年度末の45.3m²/人となっている。

(5) 離島振興事業による投資実績 (一括計上事業) (平成15~24年度) (単位: 千円)

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
砂 防	1,622,164	805,176	816,988		
治 山	925,283	468,207	457,076		
港 湾 海 岸	225,079	121,000	85,959	18,120	
道 路	7,293,126	3,885,182	3,385,507	22,437	
街 路	304,000	167,200	123,300	13,500	
港 湾	15,864,078	12,175,669	3,541,018	147,391	
空 港	1,684,035	1,439,594	244,441		
水産基盤整備	6,267,677	4,955,888	779,289	532,500	
農業農村整備 (草地開発を除く。)	4,169,845	2,223,642	1,322,851	601,979	21,373
草地開発	4,104,708	2,188,598	1,305,648	589,089	21,373
造 林	65,137	35,044	17,203	12,890	
林 道	1,420,630	459,019	257,655	38,427	665,529
公 園	2,640,755	1,321,965	1,298,724	20,066	
廃棄物処理	847,660	423,830		423,830	
簡易水道	4,033,963	1,163,694	84,044	2,786,225	
	1,257,800	628,900		628,900	
合 計	48,556,095	30,238,966	12,396,852	5,233,375	686,902

(6) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における特定離島ふるさとおこし推進事業の対象地域は, 口永良部島だけである。事業の実施状況は, 道路整備, 防災情報施設整備, 温泉場整備等の生活基盤の整備25件, 南海ひょうたん島留学 (離島留学) のみんなの参加・島づくり対策11件を実施している。

投資実績は, 次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による投資実績 (平成15~24年度) (単位: 千円)

区 分	事業費	県 費	市町村費	そ の 他
生活基盤の整備	407,175	317,188	89,987	0
みんなの参加・島づくり対策	18,260	12,143	6,117	0
合 計	425,435	329,331	96,104	0